

## CASE

## 親の経済的な支えがなくなり 自分も家計を助けたいので 退学して働こうと思う。

01

## 悩みと相談

父親が会社をリストラされ、現在再就職先を探していますがなかなか厳しい状況です。母親もパートに出て働き始めましたが、自分の学費まで支払ってもらうのは難しくなりました。自分も家計を助けたいので、退学して働こうと思います。(男子学生3年)

## 対応策

多少景気が上向いてきたとはいえ、リストラや倒産、自己破産などの目立った減少傾向は見られません。企業の業績不振や成果主義導入などにより減給される人も増加しています。学生の保護者もこれらの影響で学費を支払えなくなり、仕方なく退学を考えているという相談は少なくありません。このような学生に対しては、以下のような対応策を検討するよう促しましょう。

- ①国民生活金融公庫の教育ローンの活用
- ②日本学生支援機構(旧日本育英会)の緊急(応急)奨学金
- ③大学独自の応急奨学金

学生本人も学業を続けるためには自分で働くしかないとのことで、アルバイトを紹介してほしい、当面はアルバイトで学費を稼ぐため休学したい、などの相談も多く寄せられます。しかし、授業後のアルバイトで得られる収入はさほど多くありませんし、休学して働き始め生活に追われるようになれば、よほどのモチベーションがない限り復学は困難です。現実是非常に厳しいことを伝え、あらゆる手段や制度などを活用して、就学が続行できる方法を学生と一緒に見出していきましょう。

## POINT — ●ここがポイント

退学や休学、留年などではできる限り思いとどまらせ、就学が継続できる方法を優先的に考えましょう。学生を励ますことも忘れずに。